

令和7年度（2025年度）学校評価報告書

令和8年（2026年）3月17日

北海道教育委員会教育長 様

北海道函館西高等学校長 花 松 均

次のとおり令和7年度（2025年度）の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

<p>○主語は「一人一人の生徒」</p> <p>(1) 自分のよさや可能性を認識することができる生徒支援</p> <p>(2) あらゆる他者を価値のある存在として尊重することができる生徒支援</p> <p>(3) 多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り開いていくことができる生徒支援</p>

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修係を新たに配置し、校内研修を継続的に実施したが、授業改善や学力向上への取組への波及が一部の教員にとどまった。 対面講習とICT（スタディサプリ等）を活用した学習支援を実施したが、学年や個々の状況に応じた効果的な活用には至らず、家庭学習の習慣化や自学自習の定着には課題が残った。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の良さや可能性を引き出す指導について、教職員間で方法や視点の共通理解を図り、学校全体で効果的に展開することが望まれる。 探究活動等を通して体験的な学びを充実させるとともに、生徒の基礎的な学力の定着を図る取組を進めることが期待される。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケート結果を教科内及び校内研修で共有し、個人の振り返りにとどまらないように重点的に取り上げ、組織的な改善を促す取組を実施する。 ICT活用の目標設定と利用状況の可視化を進めるとともに、非認知能力の測定結果を面談・志望理由書指導と連動させ、自己理解の深化を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止委員会を計画的に実施し、組織的な情報共有のもと、いじめの未然防止と積極的認知、迅速な初期対応の徹底を図る体制を確立した。 生徒会行事や各種活動を通して生徒の主体性の向上を図るとともに、身だしなみ指導や安全教育、SNSに関する予防的指導を計画的・継続的に推進し、規範意識の醸成に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動をはじめとした各種活動が充実しており、生徒が安心して学校生活を送りながら主体性や自信を育む取組が進められていることを評価する。 生徒一人一人の良さや能力を見いだし自信につなげる指導を大切にするとともに、いじめの早期発見・早期対応や相談しやすい環境づくりの充実を図ることが望まれる。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 指導状況や情報共有の可視化を図るため、いじめ防止委員会や年次会議における事案共有を充実させる。また、対応経過を記録・蓄積する体制を整備し、組織的対応を強化する。 生徒の当事者意識を高めるため、生徒会各種委員会と連携した啓発活動や探究的な学習機会を設定する。また、教職員間の共通理解を深める校内研修を実施するとともに、保護者向け啓発資料の発信や外部講師による講話等を通じて、家庭・地域との連携を一層強化する。 	
進路指導	<p>総合型・学校推薦型選抜に対応していくために、「探究」と連動した全校体制での指導を推進し、探究活動の成果を調査書・推薦書作成に反映させたが、活動実績と非認知能力の評価の関連付けについて、さらに工夫を重ねていく必要がある。</p>	<p>進学実績の向上や探究活動を生かした進路指導の取組は評価できる。今後は、地域とのつながりも大切にしながら、生徒一人一人の可能性や進路選択の幅を分かりやすく示し、取組の成果を進路実現につなげる指導の一層の充実が期待される。</p>
改善方策	<p>非認知能力を可視化させることにより、生徒一人一人の強みや課題を客観的に把握し、進路指導や面談内容に反映させる。あわせて、探究活動や志望理由書作成と連動させることで、自己理解を深め、自らの言葉で進路を語る力の育成を図る。</p>	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動の状況をWeb等を利用して情報発信する。 自己評価の結果を学校評議員に報告し、学校関係者評価を実施し、Webを活用して公表する。 	

3 添付資料

- (1) 令和7年度(2025年度)北海道函館西高等学校 学校評価保護者アンケート集計結果
(2) 令和7年度(2025年度)北海道函館西高等学校 学校評価（自己評価・学校関係者評価）